

は し が き

本年度の「教務主任定期研修」に参加した6名の共同研究レポートを、「実践研究集録第11集、学校経営編」として、皆様にお届けいたします。

この研修は、小・中学校の教育活動推進のにない手である教務主任を対象として、経営的識見を高め幹部教員としての資質・能力の向上を図ることをねらいとして行なっているものです。

昨年度までは14,5名の方に参加していただきましたが、今年度は、予算、その他の研修との関係で50名の希望者のうち、小・中各3名 計6名の方に参加していただきました。40数名の方のせっかくのご希望にそい得なかったことを、ここに改めておわびいたします。

さて、研修員には、所外講師・所員からの指導 先進校の見学、さらに共同テーマによる調査研究等のため、15日間、当所に出向いてもらいました。とくに共同の調査研究には多くの時間をさき、その結果が この集録にまとめられております。

「教育目標設定・職員会議・校務分掌を通した教職員の経営参加の意識・実態と問題点」がこの調査研究のテーマとなっておりますが、これはきわめてむずかしい内容を含んでおり、そう簡単に結論づけられる性質の問題ではないように思います。

学校においては、「学校管理」とか「学校運営」といった考え方は、言い尽くされほぼ固まっておりますが、経営的発想の導入はまだ日が浅く、じゅうぶん定着しきっているとは言えません。したがって経営参加という考え方も、多種多様な考え方に包まれていると思います。さらに現実の問題である教育目標の設定・具体化、職員会議の性格・あり方、校務処理の近代化もさまざまな問題点を内包しています。これらがからみ合ったテーマだけに、研修員もさぞかし苦心したことと思われま

こうした研究テーマのむずかしさと、研究期間の制約、共同研究の限界等があずかって、研究の設計手法、結果の分析がじゅうぶんでなく、調査のおおまかな傾向はあくに終わっているくらいがないでもありません。

しかし、研修員6名は、この大テーマにきわめて真剣な態度で立ち向かったと聞いております。これを了とされ、ご高覧・ご批正をいただきたいと思ひますし、また学校経営改善のなんらかの資料として役立てていただければまことに幸いです。

終わりに 貴重な調査回答をお寄せいただいた424校の教務主任の先生方に厚くお礼申し上げます。なお、校務多端の折にもかかわらず、快く研修員に機会を与えられた該当校の校長先生はじめ諸先生方に対して、研修員と共に感謝の意を表したいと思ひます。

昭和48年1月25日

新潟県立教育センター所長 竹 内 豊 治